

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	子ども英語指導法	担当者名	福士洋子・成田恵子
授業の概要	この授業では、前半は、幼児を対象した英語活動を行う際に必要な歌、絵本、ゲームなどを使った基本的な指導法を学ぶ。後半では、附属幼稚園や小学校での英語活動を視野に入れた教材研究を行う。また、年間指導計画や指導案の立て方を学び、小学校での英語活動を想定した指導案を作成し、模擬授業を実施する。さらに、青森県内の幼児を対象にした英語活動の実施現状やJ-Shineの認定資格である「小学校英語指導者資格」の概要や登録制度等についても学ぶ。				
科目の到達目標	・英語の絵本や歌などを使った指導法を身につける。 ・「小学校英語指導者資格」に関する知識を深める。 ・幼児施設及び小学校での英語活動を視野に入れた教材研究を行う。 ・幼児・児童を対象にした英語活動の指導案の立て方を知る。 ・幼児・児童を対象にした英語活動の指導案を作成する。 ・作成した指導案に基づいて模擬授業を実施し、英語活動の実際を体験する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能40％ ⑦思考力20％ ⑧実践力20％ ⑨主体性20％				
授業時間外学修（予習・復習）	・英語の絵本を和訳し、読み聞かせの練習を2時間程度行う。 ・英語の歌の練習を30分程度行う。 ・模擬授業のための教材を1時間程度で作成する。 ・必要に応じて指導案に修正を加え、模擬授業の練習を2時間程度行う。				
フィードバックの方法	英語の読み聞かせ・歌・模擬授業の実践についての講評を行う。指導案については、個別に修正点等を指摘する。				
単位認定の要件	・英語の歌を歌うことや絵本の和訳・読み聞かせができる。 ・指導案を作成し、それに基づき模擬授業を実施することができる。				
評価の方法・割合（％）	授業内発表（歌、絵本）40％、指導案 30％、模擬授業 30％				
履修上の注意事項	「小学校英語指導者資格」(J-Shine)を取得するための必修科目				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要(評価の観点含む)、青森県内の保育施設における英語活動実施状況、自己紹介他	⑦⑨	ミニッツペーパー
2			絵本教材と指導法:年齢に応じた絵本の選び方・読み方・和訳の仕方を学ぶ。	⑥⑧	ミニッツペーパー
3			絵本の読み聞かせ:人前で絵本の読み聞かせを行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
4			歌・チャンツ教材と指導法:年齢に応じた歌などの選び方、歌などのメリット等歌・チャンツのふり(動作)を考えて、練習する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
5			歌又はチャンツ:人前で二人一組で動作をつけて歌う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
6			ゲームを取り入れた英語活動:年齢に応じたゲームの選び方、指導法を知る。様々なゲームを体験する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
7			小学校英語指導者資格(J-Shine)の説明 小学校英語活動:フォニックスを取り入れた英語活動等を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
8			小学校英語活動:教材研究①:低学年を対象にした教材作成の方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
9			小学校英語活動:教材研究②:中学年を対象にした教材作成の方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
10			小学校英語活動:教材研究③:高学年を対象にした教材作成及び評価方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
11			小学校英語活動の実際:小学校での英語活動のDVD等を視聴する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
12			指導案の立て方・作成:模擬授業のための指導案の立て方を学び、作成する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
13			模擬授業の練習:指導案に沿って練習を行い、修正を加える。 教材の製作をする。	⑥⑧	ミニッツペーパー
14			模擬授業①:指導案に沿って模擬授業を行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
15			模擬授業②:指導案に沿って模擬授業を行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
期末試験					

使用テキスト	岡秀夫・金森強(2012)『小学校外国語活動の進め方』成美堂
参考文献 参考URL	中山兼芳(編)(2005)『児童英語教育を学ぶ人のために』世界思想社 文部科学省『小学校外国語活動サイト』 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gaikokugo/
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--